

世界協働のプラットフォーム構築に向けて

学校法人永守学園
京都先端科学大学附属高等学校

令和6年2月27日

アウトライン

- WWL事業構想
- 探究的な学びのカリキュラム開発
- データリテラシー教育
- 超数学および超数学 × インド連携校オンライン交流
- Global Simulation Gaming（国際会議）
- 課題研究成果発表会
- 高大接続・APプログラム
- 探究学習の高度化、自律化に向けて意識していること
- WWL 事業を行ったことによる学校全体への波及効果
- 来年度以降の予定

構想名

世界協働のプラットフォーム

同時双方向 × 高大連携 × Nカ国 × 世界課題

目指す人物像

Society 5.0 に必要となる高いデジタルリテラシーを有し、豊かな創造性と旺盛な好奇心そして多角的な視野を持って試行と挑戦を続けることができる

グローバル イノベーター

備えるべき資質

グローバルイノベーターが
備えるべき資質

1. 批判的思考力
2. コラボレーションとリーダーシップ
3. 俊敏性と適応力
4. 起業家精神
5. コミュニケーション力
6. 情報アクセス力と分析力
7. 好奇心と想像力
8. 英語力
9. Society 5.0に対応する高次元のデジタルリテラシー

二十一世紀の
サバイバルスキルズ

21世紀の
グローバルナビゲーター

カリキュラム開発

京都先端科学大学附属高等学校における 探究的な学び

～ニューノーマルにおけるSDGsの達成をテーマに～

探究的な学びの流れ

国際コース
KOA Global Studies I II III

特進Advancedコース
Science Global Studies

特進Basicコース
進路探究学習

進学コース
進路探究学習



課題探究成果発表会

KOA Global Studies I II III (国際コース)

KOA Global Studies I

スキルの獲得

問題解決・リサーチの進め方

- ・ MECE・ピラミッド構成
- ・ Problem Tree
- ・ PEST分析
- ・ データ収集等

知識の獲得

- ・ 和食と日本人の心
- ・ 『人間の安全保障』
- ・ 国際機関・組織の活動

長期課題研究・発表

SDGsの達成につながる

ソーシャルビジネス

スキルと知識の獲得

KOA Global Studies II

Social Issues への応用

- ・ ベトナムにおける
持続可能な農業開発
 - ・ フィリピンにおける
Social Businessモデル
- ※ベトナム／フィリピン
フィールドトリップ

Entrepreneurialism

への応用

- ・ ビジネスモデル開発

世界を舞台に体験・検証

KOA Global Studies III

Global Simulation Gaming

(国際政治の模擬的体験)
多角的な視点から見た国際情勢への知識・理解力を養い、課題設定・政策立案・外交交渉を通じて、現実の国際社会についての理解を深める

個人課題研究卒業論文

※英文

Global Issues解決への取り組み

進路探究学習(特進ADVANCEDコース)

1年

問題発見能力・データ分析・統計学
プロトタイピング・プレゼンカの育成

SGS(総合的探究の時間)

- ・サイエンス・ビジネス・テクノロジーのうち
いずれかの研究分野を選択
- ・SDGsとの関連性を探る
- ・成果発表会(京都先端科学大と連携)
- ・グループで成果物(論文、ビジネスプラン、
試作品)を製作、発表する
- ・外部コンテストへの応募

2年

批判的思考力・プレゼンカ・語学力の育成

総合的探究の時間

- ・イギリス研修旅行
語学研修、日本文化の紹介
- ・進路探究(小論文・自己分析)
- ・インド×超数学
- ・フィリピン・オンライン英会話
- ・外部コンテストへの応募(課外・有志)

進路探究学習(特進BASICコース)

1年

問題発見能力の育成

- ・地域の課題を自分事としてとらえる
- ・校外学習を通して
「54字の物語」を作成
(思いを言語化する練習)
- ・「社会と情報」の授業とのタイアップ
- ・グループ探究活動
- ・「SDGs探究AWARDS」への応募
- ・プレゼンテーション作成、発表する

2年

問題解決能力とプレゼン力の育成

- ・京都の観光における課題を探究
 - 京都市内のフィールドワークおよび京都における修学旅行のプラン作成
 - 英語によるプラン紹介動画作成
 - アメリカ研修旅行の事前学習と連動させ、より深い学びに繋げる
- ・デザイン思考をもとに問題解決
- ・SDGsとの関連性を探る
- ・英語によるプレゼンテーション

進路探究学習(進学コース)

1年

問題発見能力の育成

- ・地域企業の社会課題
- ・地域の課題に対して当事者意識を持つ
- ・「社会と情報」の授業とのタイアップ
- ・グループ探究活動
- ・プレゼンテーションシート等の成果物を作成、発表する

冬休み 個人探究学習

「SDGs探究AWARDS2023」への応募

2年

問題解決能力とプレゼン力の育成

- ・京都の観光における課題を探究
 - 京都市内のフィールドワークおよび京都における修学旅行のプラン作成
 - ⇒ 観光甲子園に出品
- ・シリコンバレーのハイテク産業およびセントラルバレーの農業というカリフォルニアの地場産業を学ぶアメリカ研修旅行との連動
- ・SDGsとの関連性を探る
- ・英語によるプレゼンテーション

データリテラシー教育

情報 I 1年全コース(必修)

データ活用能力の育成

情報 I 授業内の取り組み

- ・22年度より、授業へのプログラミングの導入
 - ・Ed Techサービスを利用し、「データの活用」をテーマとする授業計画
 - ・問題解決力向上を目指した授業展開(データの収集・整理・分析)
- ※23年度公開研究授業大会で、授業における「データの活用」をテーマに
校内外からの参加者に授業を公開

授業での学びの活用

探究的な学びの高度化と深化に繋げる

※AIリテラシー向上の必要性→生成系AI有効活用の検討に入っている

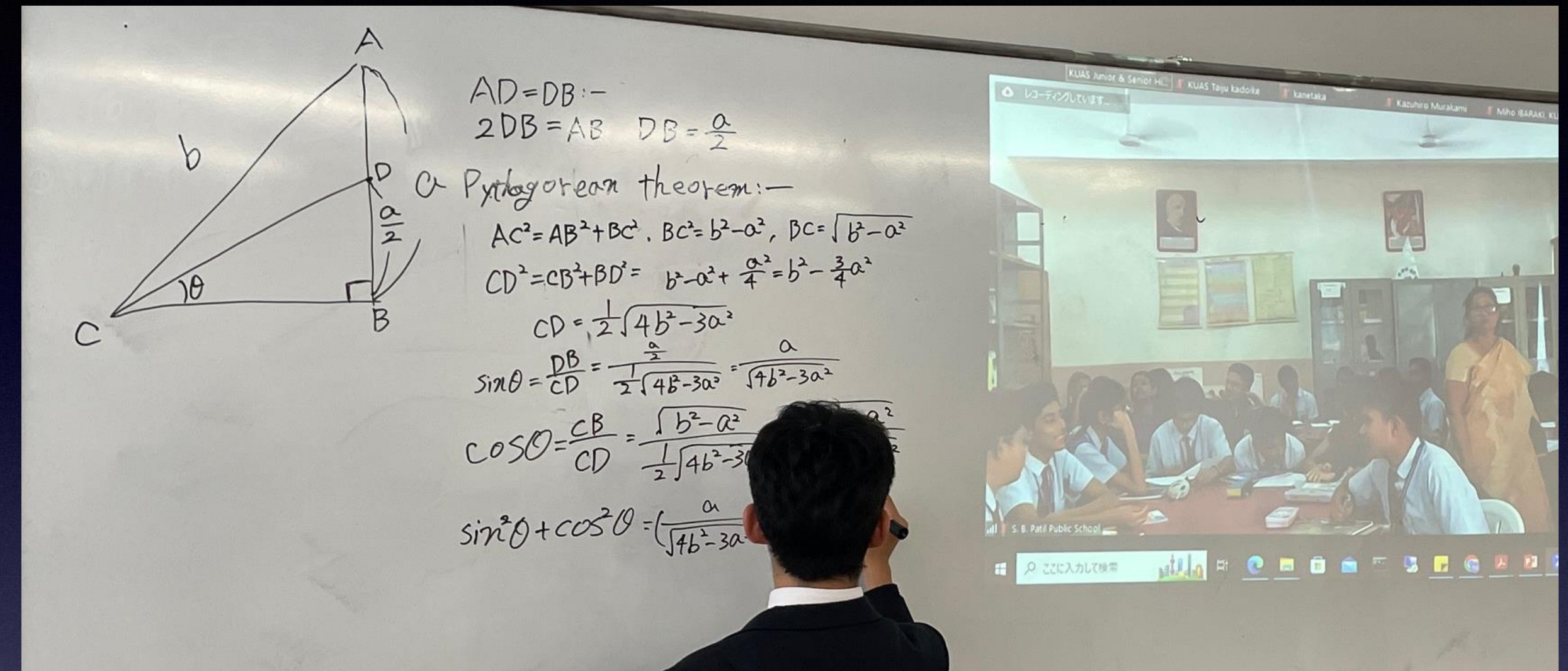
超数学および超数学×インド連携校オンライン交流

超数学

- ・学年の枠、高校数学の枠を超えた発展講座
- ・数学グランプリ／数学道場に出場
- ・数学検定の受験
- ・土曜日の午前に実施

超数学×インド連携校オンライン交流

- ・インドの高校S. B. Patil Public Schoolとオンラインで数学交流
- ・特Aコース、1年生・2年生の有志が参加
- ・各校から問題を1題ずつ出題
- ・問題の解答を両校の代表者が発表
- ・インドの学校の学生の丁寧な解法に驚き、数学を学ぶ意欲がより高まった
- ・数学をとおして、言語の壁を越えた交流ができた



連携校との協働・事業成果の共有と普及（学びのプラットフォーム）

（ALネットワーク連携校との協働）

- 超数学 × インド連携校オンライン交流
- Global Simulation Gaming（国際会議）
- 課題研究成果発表会 ※英語

Global Simulation Gaming

2021年度 テーマ：“Carbon Neutral and Sustainable Food Production”
初めて、国内連携校として愛媛大学附属高等学校様の参加を得て、
オンライン開催

2022年度 テーマ：“Emergency Resolution on the Climate Refugee Crisis”
国内連携校6校およびフィリピンの連携校St. Pedro Poveda Collegeの参加者
を得て、国内校は対面、海外校はオンライン開催

2023年度 テーマ：“Carbon Neutrality: Global Energy Transition”
国内外連携校から59名の参加者を得て、全面对面式で開催

→次年度以降も継続開催

課題研究成果発表会

ステージ発表

本校4つのグループよりそれぞれ1つの代表グループおよび連携校の代表グループが1年間の探究的な学びの成果を発表、共有することで、気づきの機会を創造し、自らの学びの深化に繋げることを目的とする

連携校主催の国際会議でプレゼンテーションの機会を得た本校代表グループ、コースの枠を超えて、探究的な学びに取り組んだグループについても、同じく発表の機会を得られるものとする

ポスター発表

本校における探究的な学びの成果の発表機会をより多くの生徒に与え、発表者と聞き手が、発表内容についてより自由に意見の交換をできる機会

大学先取り履修(AP科目)の導入

- ・京都先端科学大学の単位として認定
- ・高校3年次に科目履修生として受講(3単位 必修)
→通年(春学期、秋学期)、大学生と同じ授業を受講
- ・「太秦DAY」の設定
特定の曜日に半日ないし一日、大学のキャンパスで学ぶ日(太秦DAY)を設定

選択可能な大学の科目例

未来展望ゼミ(パイソンプログラミング、論理的思考入門ほか)

歴史学入門、社会学入門、哲学概論

経済学入門、経営学入門、日本経済入門、入門簿記

京都のビジネス

化学技術史、微生物の世界、生物学、化学

健康スポーツ心理学、健康スポーツトレーニング論、

スポーツ社会学

第2外国語(中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語)

探究学習の高度化、自律化に向けて意識していること

- 現場主義のカリキュラム開発と授業運営
- 9つのスキルを生徒に身につけさせるためのアプローチの見直し
※ 検証結果に基づいて
- 運営指導委員からのフィードバックの共有（校内および連携校）
- 教科の枠を超えた学びの機会の創出
- 学びの成果を検証し、評価を得る機会の創出
（課題研究成果発表会・海外研修旅行・海外フィールドトリップ・外部コンテスト）
- 京都先端科学大学・事業協働機関による授業・講義の機会の創出
- 教員研修会の開催

WWL事業を行ったことによる学校全体への波及効果

- ・知識重視の学びから、探究的な学びへの変換の必要性の認識
- ・国内外の連携校の生徒との協働・交流から得られる気づき、学びに対する動機づけ
- ・コースの枠を超えたリーダーシップ教育
- ・参加生徒のコンピテンシーの伸び



京都先端科学大学附属高等学校

文部科学省指定事業
「WWLコンソーシアム構築支援事業」
によるコンピテンシー成長

令和6年2月9日

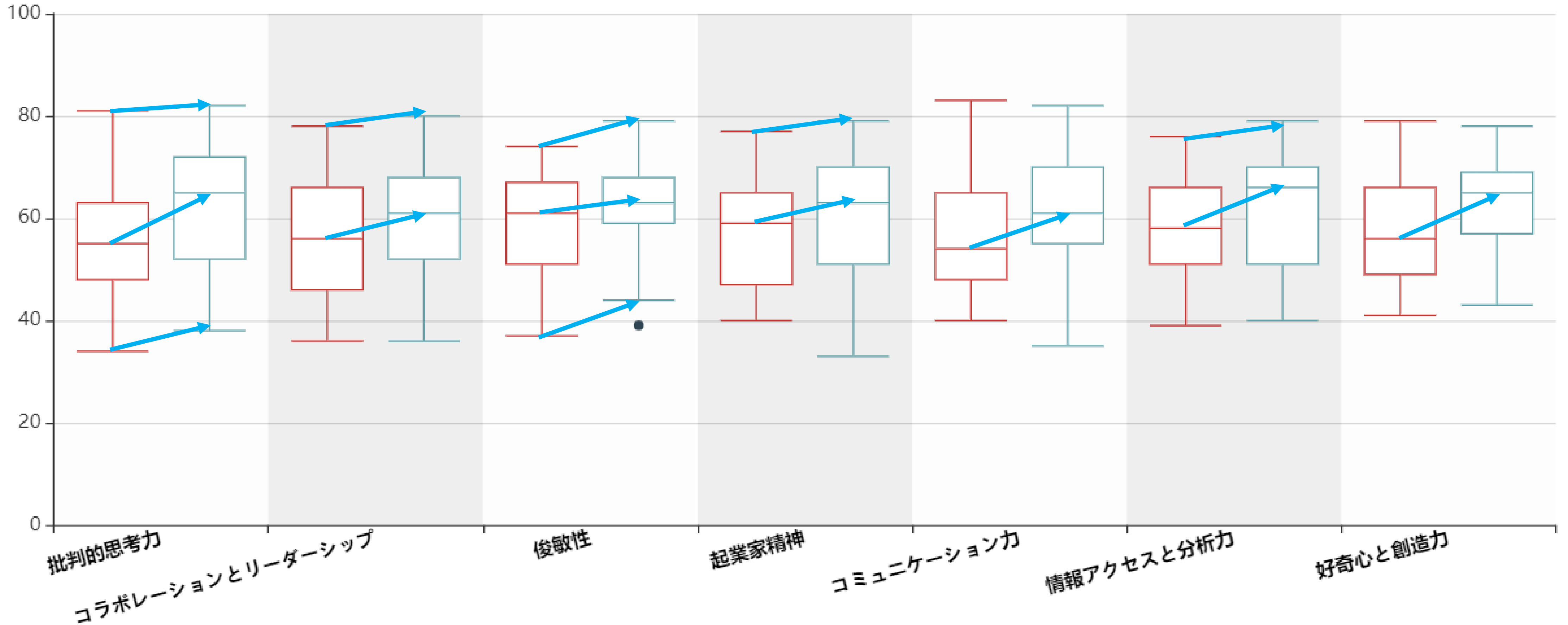
調査設計

項目	内容
目的	文部科学省指定事業「WWLコンソーシアム構築支援事業」の効果検証
対象	1年生 357名（国際コース 29名 / 特進Advancedコース 71名 / 特進Basicコース 108名 / 進学コース 91名 / 進学コース 部活動クラス 58名） 2年生 496名（国際コース 58名 / 特進Advancedコース 128名 / 特進Basicコース 136名 / 進学コース 110名 / 進学コース 部活動クラス 64名） 3年生 33名（国際コース 33名） ※事前・事後でコンピテンシー・データの取れた生徒
計測時期	事前 2023年5月（高3のみ2023年4月） 事後 2024年1月
計測項目	<ul style="list-style-type: none">■ 認知系コンピテンシー：課題設定、論理的思考、疑う力、創造性■ 自己系コンピテンシー：個人的実行力、内的価値、ヴィジョン、自己効力、成長、興味、決断力■ 他者系コンピテンシー：表現力、共感・傾聴力、外交性、柔軟性、影響力の行使、 上記16のコンピテンシーの組み合わせによって本事業で育成を目指す「9 KOA Global Skills」のうち、英語力とデジタルリテラシー以外の資質・能力を計測し、定量的に評価を行った。 (1) 批判的思考力：疑う力×表現力 (2) コラボレーションとリーダーシップ：主体性（決断力×個人的実行力）×協働性（自己効力×影響力の行使） (3) 俊敏性：個人的実行力×外交性 (4) 起業家精神：課題設定×柔軟性×ヴィジョン (5) コミュニケーション力：表現力×共感・傾聴力 (6) 情報アクセスと分析力：成長×論理的思考×内的価値 (7) 好奇心と創造力：創造性×興味

1年生 国際コース

2023年5月 2024年1月

コンピテンシースコア

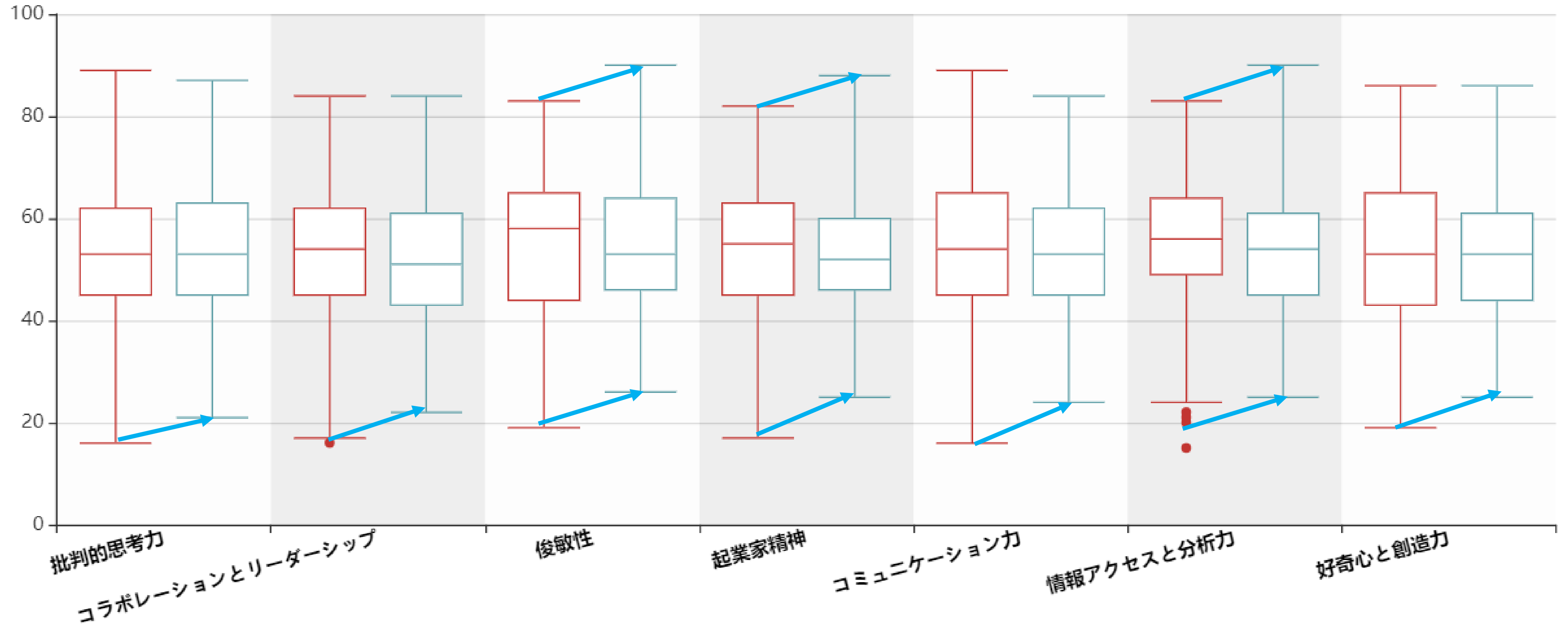


	批判的思考力	コラボレーションとリーダーシップ	俊敏性	起業家精神	コミュニケーション力	情報アクセスと分析力	好奇心と創造力	全体
成長率	110.2%	109.3%	108.6%	107.5%	108.0%	107.5%	110.1%	108.8%

1年生 特進Basicコース

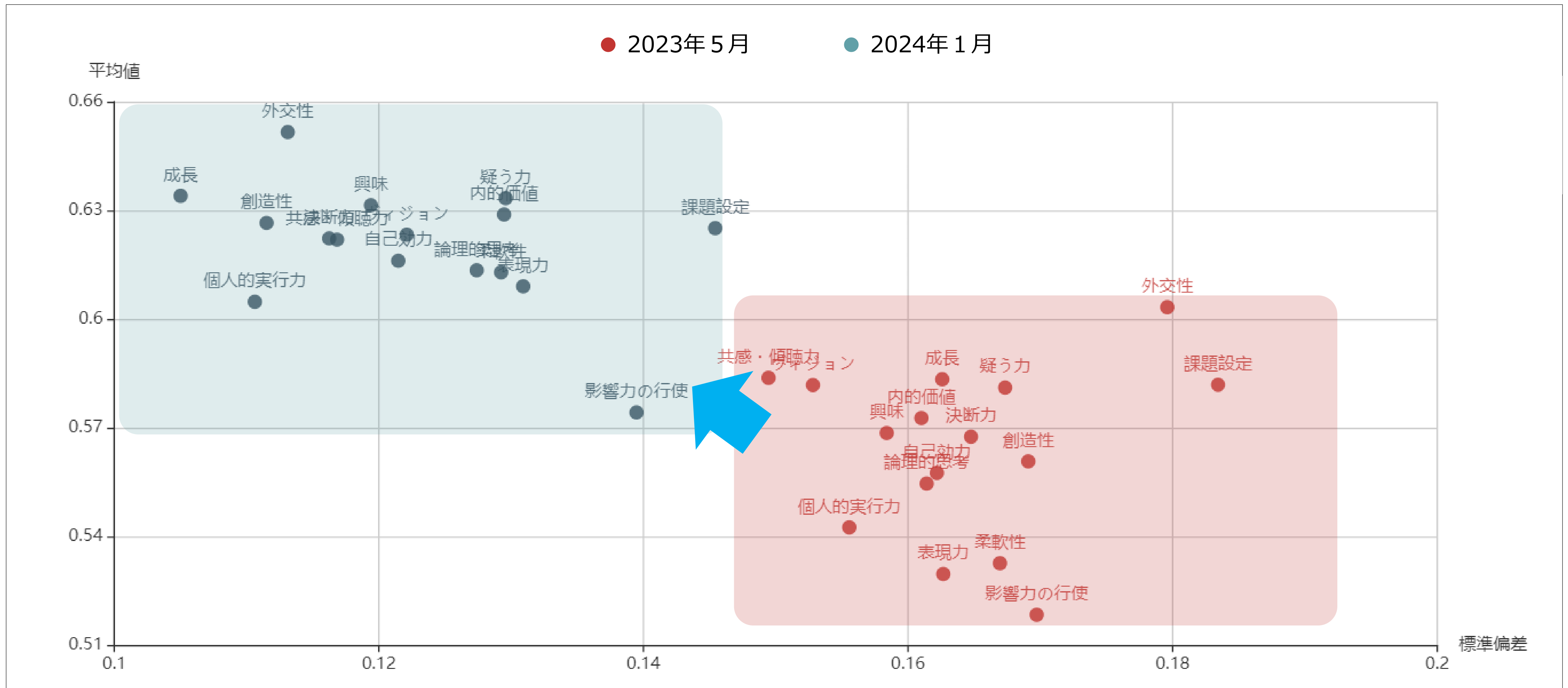
2023年5月 2024年1月

コンピテンシースコア



	批判的思考力	コラボレーションとリーダーシップ	俊敏性	起業家精神	コミュニケーション力	情報アクセスと分析力	好奇心と創造力	全体
成長率	103.3%	102.8%	101.8%	103.4%	103.3%	102.3%	103.4%	102.9%

1年生 国際コース (M-Vプロット)

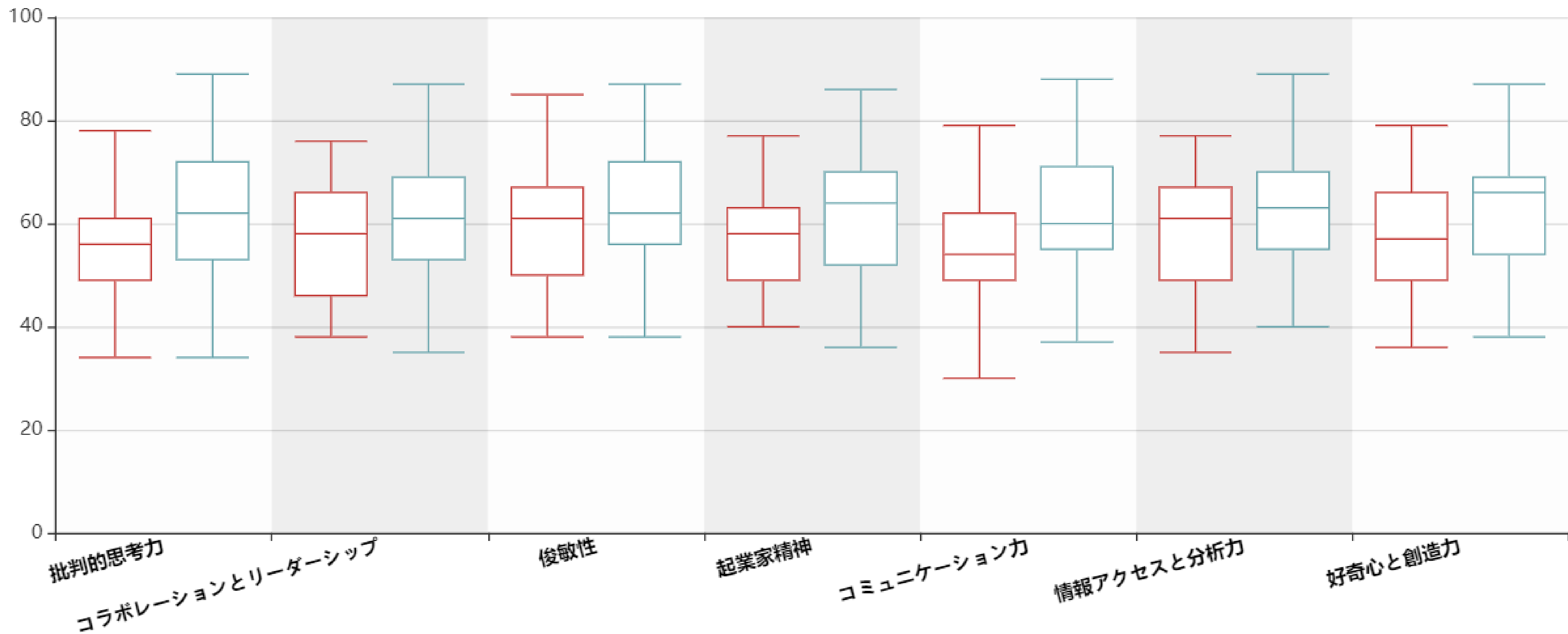


計測したコンピテンシー全ての平均値が大きく上昇。標準偏差も大幅に改善

3年生 国際コース（3年間の成長）

2021年7月 2024年1月

コンピテンススコア



	批判的思考力	コラボレーションとリーダーシップ	俊敏性	起業家精神	コミュニケーション力	情報アクセスと分析力	好奇心と創造力	全体
成長率	115.1%	110.3%	107.2%	111.6%	115.6%	110.6%	114.4%	112.1%

来年度以降の予定

- Global Simulation Gaming(国際会議)、課題研究成果発表会をはじめとして、WWL事業拠点校指定3年間に行ってきた取り組みは、すべて継続実施予定
- 地域ALネットワーク関西ブロックと協働を見据えた、本校の学びのプラットフォームの拡大・発展